



長崎大学病院

NAGASAKI University Hospital since 1861

「頭のかたち外来」

令和7年7月より、
院内で初診から卒業まで治療を行う
「クルムフィット」の取扱いを開始。



作って終わりではありません。 治療終了まで「安全・安心サポート」

ヘルメット治療の流れ

step 1 適正診断をする

医師が触診・視診にて歪みを判定し、治療の適応を決定。
レントゲンで頭の歪みが病的なものでないか確認します。

step 2 ヘルメット作成

最先端の3Dスキャナーで撮影したお子さまの頭の
データをもとに、3Dプリンターで完全オーダーメイドの
ヘルメットを作成します。

step 3 定期的な診察

約4週間ごとにヘルメットの装着状況および視診・触診で変形の改善度合いを確認し、クッションの厚みを調整します。

お知らせ

2026年6月27日(土)開催
「第22回 Craniosynostosis 研究会」(長崎大学病院主催)



頭のかたち外来 担当医師 榎山和也先生からのメッセージ



【経歴】

2003年3月 長崎大学医学部医学科卒業
2003年5月 長崎大学形成外科 入局
2012年3月 長崎大学大学院医歯薬総合研究科卒業
2012年4月 長崎大学大学院医歯薬総合研究科
原研医療 研究員
2014年4月 豊見城中央病院 形成外科 医長
2019年4月 長崎大学形成外科 助教
2021年10月 長崎大学大学院医歯薬総合研究科
形成再建外科学分野 准教授
2024年10月 同 教授

【学位・資格：・学会活動 等】

日本専門医機構 形成外科専門医・領域指導医
日本形成外科学会 評議員・専門医
小児形成外科分野指導医
皮膚腫瘍外科分野指導医
レーザー分野指導医
日本頭蓋顎顔面外科学会 代議員・専門医
日本美容外科学会 JSAPS 専門医
日本熱傷学会 専門医
日本レーザー医学会 評議員・専門医
日本創傷外科学会 評議員・専門医
Craniosynostosis 研究会 世話人

◆ 頭蓋変形には稀に病気が潜んでいることがあります

乳児の頭蓋変形を引き起こす代表的な疾患に頭蓋骨縫合早期癒合症があります。非常にまれな疾患ですが、手術以外に治療法がありません。私は小児脳神経外科を専門とする医師ですので、頭蓋骨縫合早期癒合症の診断や手術に豊富な経験があります。赤ちゃんの頭の形に強い変形が見られる場合に最も大切なことは、頭蓋骨縫合早期癒合症を適切に診断し治療につなげることです。

◆ 矯正治療に関する適正な医療提供

「位置的頭蓋変形に対するヘルメット適正治療研修会」(※注)に参加し、同研修会での発表も行われています。また、他施設でのヘルメット治療の現場を視察し、知識と経験を重ねております。

位置的頭蓋変形は病気ではありませんので、ヘルメット治療は必要不可欠なものではありません。「赤ちゃんの頭のかたち外来」では、ご家族の皆様が納得して治療をするかしないかの選択をしていただけるように丁寧な説明を心がけます。

※注：「第5回 位置的頭蓋変形に対するヘルメット適正治療研修会」を2024年12月22日に開催

◆ シームレスな治療の流れ

病的な変形ではないか正確に鑑別診断します。ヘルメット治療を開始した後は、毎診察時に赤ちゃんの頭蓋の成長発達や治療効果を確認し、必要に応じてヘルメットのインナークッションを赤ちゃん個々の成長に合わせて交換します。初診から治療終了(卒業)まで、同一施設内でシームレスに治療を受けられる環境を整えたことで、患者様とご家族にとって大きな利便性が提供されます。

国立大学法人 長崎大学病院

診療科目

形成外科「頭のかたち外来」

診療日

毎月第1、第3火曜日(木曜日)

* 担当医師の学会参加等のため、日程変更の可能性がございますので、必ずお電話にてご確認ください。

長崎大学病院 HP

住所

〒852-8501
長崎県長崎市坂本1丁目7番1号

TEL

095-819-7200

紹介状

初診の受診予約には紹介状が必要です。

ご予約の流れ

長崎大学病院 形成外科外来 095-819-7467 までお電話の上、ご希望の受診日時をご予約ください。



med.nagasaki-u.ac.jp